

自慢の歌を熱唱

阿蘇市で「NHKのど自慢」生放送



特別賞を受賞した市内の病院に勤める3人組

NHKの人気番組「NHKのど自慢」が12月1日、阿蘇体育館で開かれ大勢の観覧者でにぎわいました。

前日の予選会で250組の中から選ばれた20組が出場し、自慢の歌を披露。出場者の熱唱、熱演で会場は大いに盛り上がり、結果は7組が合格、チャンピオンには専門学校に通う阿蘇市黒川の立石崇純さん（19歳）が選ばれました。

また、ゲストの野口五郎さん、石川さゆりさんの歌声も披露され、大盛況の内に番組放送を終えました。

市役所で市長と談話する安光氏



学校歯科医として50余年 安光千年氏に瑞宝双光章

昨年の叙勲で、学校歯科保健の普及に尽力した功労が認められ、学校歯科医の安光千年氏（85歳、坊中）が瑞宝双光章を受章されました。

安光氏は、50年以上にわたり学校歯科医として小・中学校児童・生徒の健診や予防、指導に携わり歯科保健の普及啓発、向上に尽力され、現在も現役歯科医として活躍されています。

佐藤市長を表敬訪問した安光氏は「阿蘇の地で長く歯科医療を続けることができたのも、歯科医師会の先生方や地域の方々の支えがあったからこそ。これからも地域歯科医療に貢献できるよう精進したい」と受章の喜びを語られました。

大きい体に体当たり！！

元力士が小学校を訪問



真鍋氏（写真右）と楽しく相撲をとる子どもたち。

阿蘇市出身で元幕下力士兜岩かぶといわの真鍋洋司氏が12月11日、坂梨小学校を訪れ児童と相撲を通じ交流を深めました。

体育館で児童10数人が真鍋氏と対戦。片手で持ち上げられたり弾き飛ばされる一面もあり、大きな歓声と笑顔に包まれました。

対戦した児童は「本物のお相撲さんと相撲がとれて嬉しかったです」と笑顔。真鍋氏は「どんなことでもいいので、一つのことには一生懸命取り組みることが大事」と児童にメッセージを贈りました。

真鍋氏は15歳から相撲界入りし、昨年の九州場所までの12年間、活躍しました。

道の駅阿蘇に電気自動車寄贈

日産自動車(株)

日産自動車株式会社から電気自動車「日産リーフ」と電力供給システム「LEAF to Home」各1台が道の駅阿蘇に贈られ、12月2日贈呈式が行われました。

電気自動車は、日常生活や地震、台風による停電など緊急時ににおいても、移動可能な電源として利用可能。同社が災害時の電力供給や、地域住民の日常生活の向上に活用してもらおうと、全国47都道府県に各1台贈っています。

式では、熊本日産自動車株式会社坂田信治社長が、「日産リーフは、災害時の電力供給源にもなり、排出ガスゼロでクリーンです。電気自動車を普及させ、低炭素社会づくりを目指したい。」とあいさつ。佐藤市長からお礼の言葉と感謝状が同社に贈られました。



電気自動車を初めて充電する佐藤市長と坂田社長(右)

急時においても、移動可能な電源として利用可能。同社が災害時の電力供給や、地域住民の日常生活の向上に活用してもらおうと、全国47都道府県に各1台贈っています。

阿蘇ん子トーク!

今月のテーマ

私に取り組む「エコ」なこと

(宮地小学校6年生の皆さん)

- あついひは電気を消してプールへGO (市原尚也)
- ねるときは、クーラー消してまどあける (三寫洋人)
- ごみがでたらポイ捨てせずにごみ箱へ (山内華音)
- えんぴつは短くなるまで使いましょう (高橋由衣)
- れいぼうおんどを1どあげる (三城葵空)
- 食器を洗うせんざいの量をすくなくする (小野綺夏)
- もらった服は最後まで使おう (武藤明日香)
- 電気をつかわないで、
□ーソクやうちわですごす (山部琢美)
- ふるくなったジーンズはバッグにする (皆本天)
- 晴れた日には電気を消すのを
わすれないでねお父さん (野中秀明)

- きなくなった服はすてずに
弟やいとこにあげる (河島光我)
- ばあちゃんは、ざんぱんを畑の
ひりょうにしている (岩下大地)
- いらなくなった服をリサイクル (服部勇希)
- 買い物の時はエコバッグを持って行く (宮本瞳)
- お母さんがいない服を自分がもらう (竹澤桃花)
- たまには車にたよらず歩こう (村上夏奈瀬)
- たて50cmの自分専用扇風機を回してなるべくエアコンをつけません! (笹原理瑚)
- えん筆が短くなったらコンパスに使おう! (井芹明日香)
- いらなくなった服は、再利用して使います (市原智佳)
- 山でポイ捨てをしないようにする (山口紘生)
- カンを集めて小学校でリサイクル (岩下老成)
- おかあさんはつかえなくなった
ふくをなにかにかえちゃう (廣田涼大)
- ペットボトルは上の方を切って
かざりをつけてペン立てにする (廣瀬華莉奈)

[お詫びと訂正]

広報あそ12月号13ページ記載の阿蘇市文化祭主催の阿蘇市文化協会の会長名に誤りがありました。訂正してお詫びします。

誤：後藤新一会長 正：小嶋維男会長

地方自治の進展に貢献 岩村鐵雄氏に旭日単光章

伝達式で勲記を受け取った岩村氏（右）



旧阿蘇町議会議員として4期16年の永きにわたり地方自治の進展に尽力し功績があったとして、岩村鐵雄氏（88歳、車帰）が旭日単光章を受章されました。

岩村氏は、昭和57年の初当選以来、平成10年まで議員として奉職。文教厚生常任委員会委員長、経済常任委員会委員長などを歴任し、バブル

岩村氏は「地域の方々には大変お世話なつたと同時に、家族にも支えられ心から感謝しています」と喜びを語られました。

ル崩壊後の景気低迷のなか、議会の中心となり行政経費の節減や、適正な事業の選択等を執行部に強く訴え健全財政の確立などに尽力されました。

差別のない明るい社会を目指して

2013 阿蘇市人権フェスティバル

人権週間に合わせ人権意識の高揚を図ろうと12月5日、阿蘇市人権フェスティバルが阿蘇体育館で開かれ、約300人が参加しました。

会場には、水俣病をテーマにした小学校の学習新聞やポスター、標語、男女共同参画川柳などの展示のほか、障害者支援施設阿蘇くんわの

里などによる物品販売が行われました。

また、ステージでは、人権啓発キャラクター「コッコロ」を交えたステージショーをはじめ、人権擁護委員による家庭の中の介護をテーマにした人権劇が上演されるなど、人権問題を見つめ直す一日となりました。



人権擁護委員による劇のようす

世界農業遺産のこれからを考える

世界農業遺産シンポジウム



プレゼンテーションのようす

世界農業遺産シンポジウムが11月29日、市内ホテルで開催され、市民や関係者など300人が参加しました。

蒲島郁夫知事をはじめ世界農業遺産推進の第一人者である宮本けんしん氏、南阿蘇村の農業大津愛梨さんが登壇し、世界認定決定時に実際に行ったプレゼンテーションを再現。宮

本氏は「農業の価値や食文化を伝えていくのは農家だけではない。食に関わる人や消費者がメッセージを発信することが大事」と話していました。

また、国連大学の竹内和彦所長が、世界農業遺産の意義と今後の活用について講演しました。